

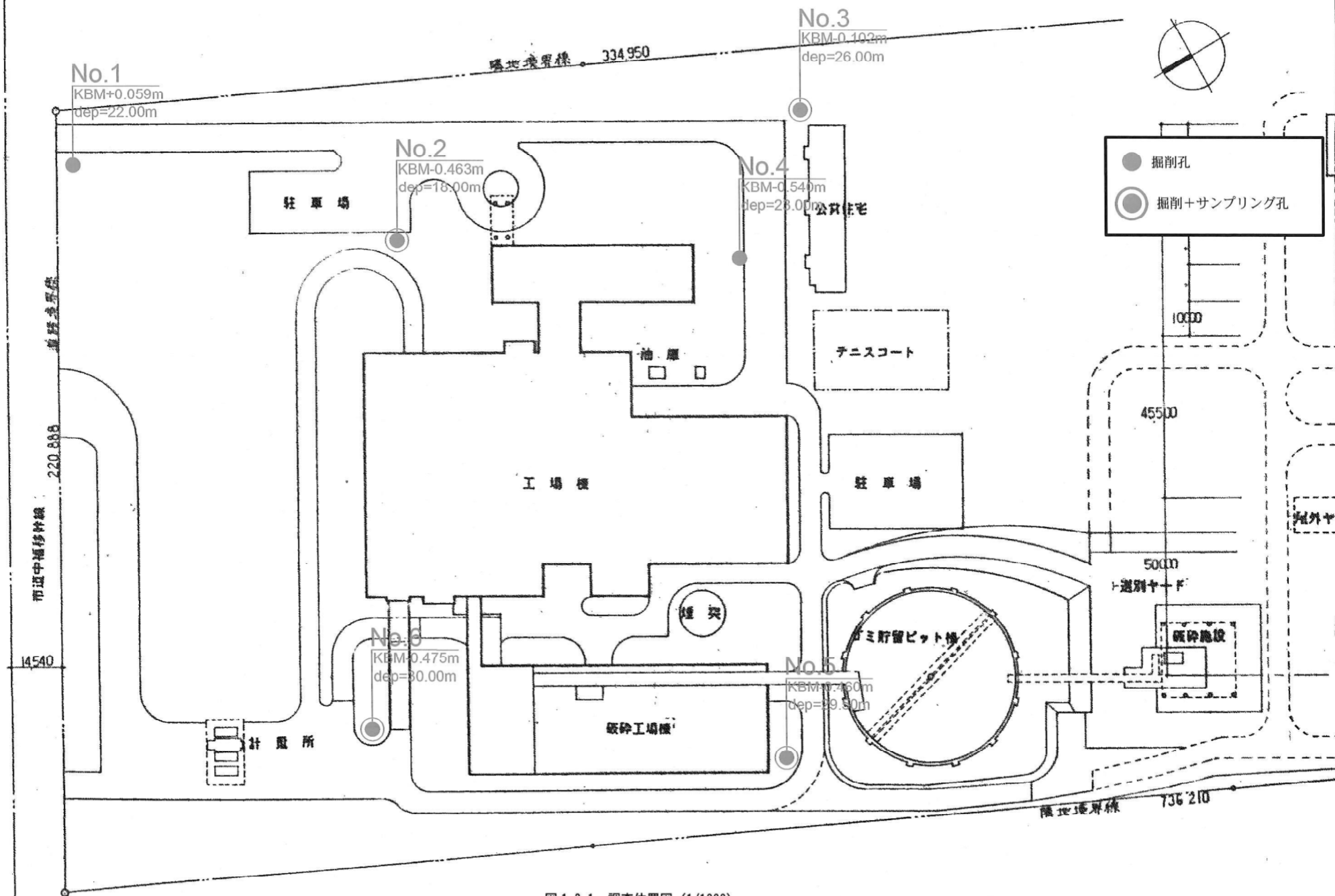
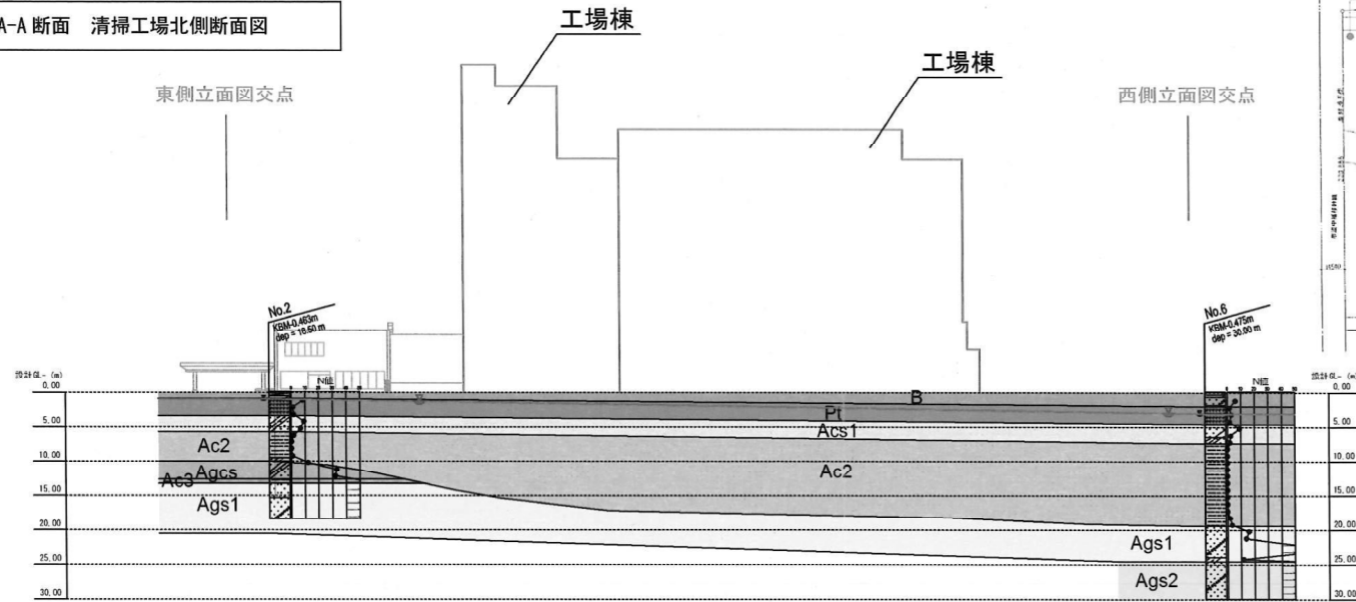


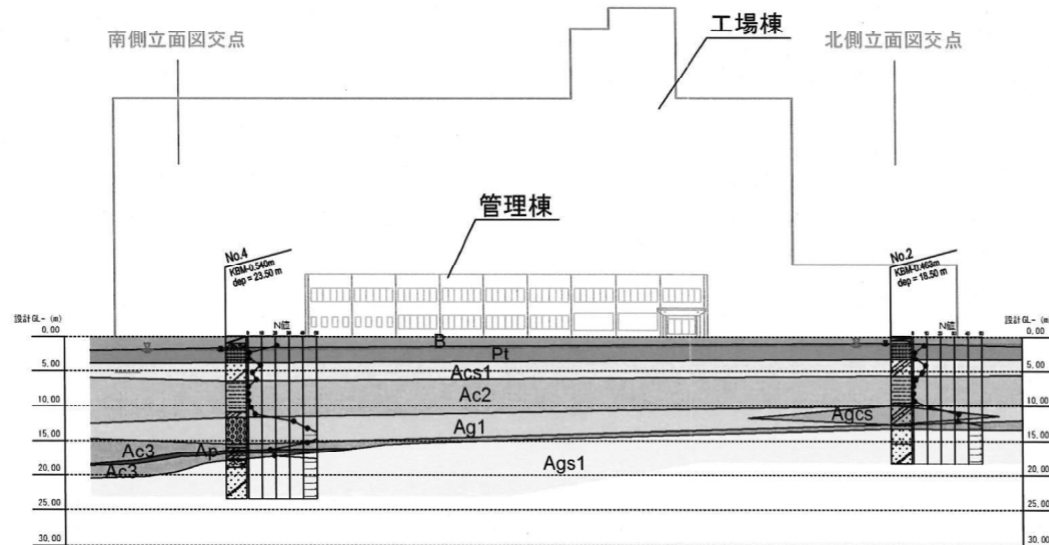
図 1.3.1 調査位置図 (1/1000)

A-A 断面 清掃工場北側断面図



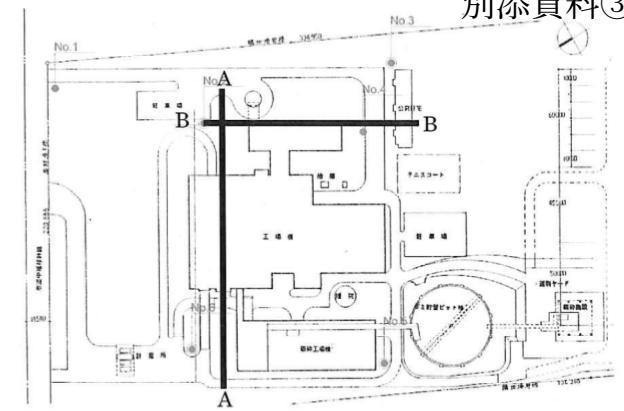
北側立面図

B-B 断面 清掃工場東側断面図



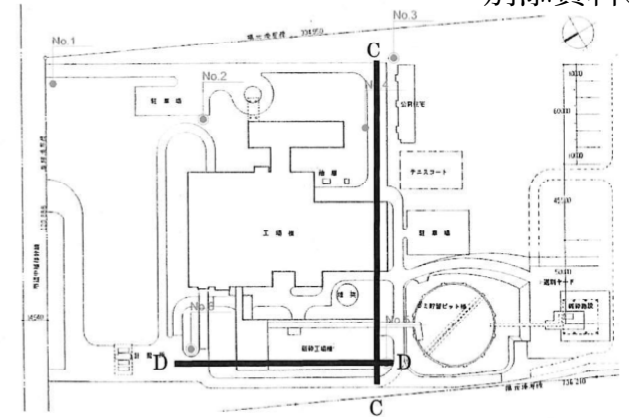
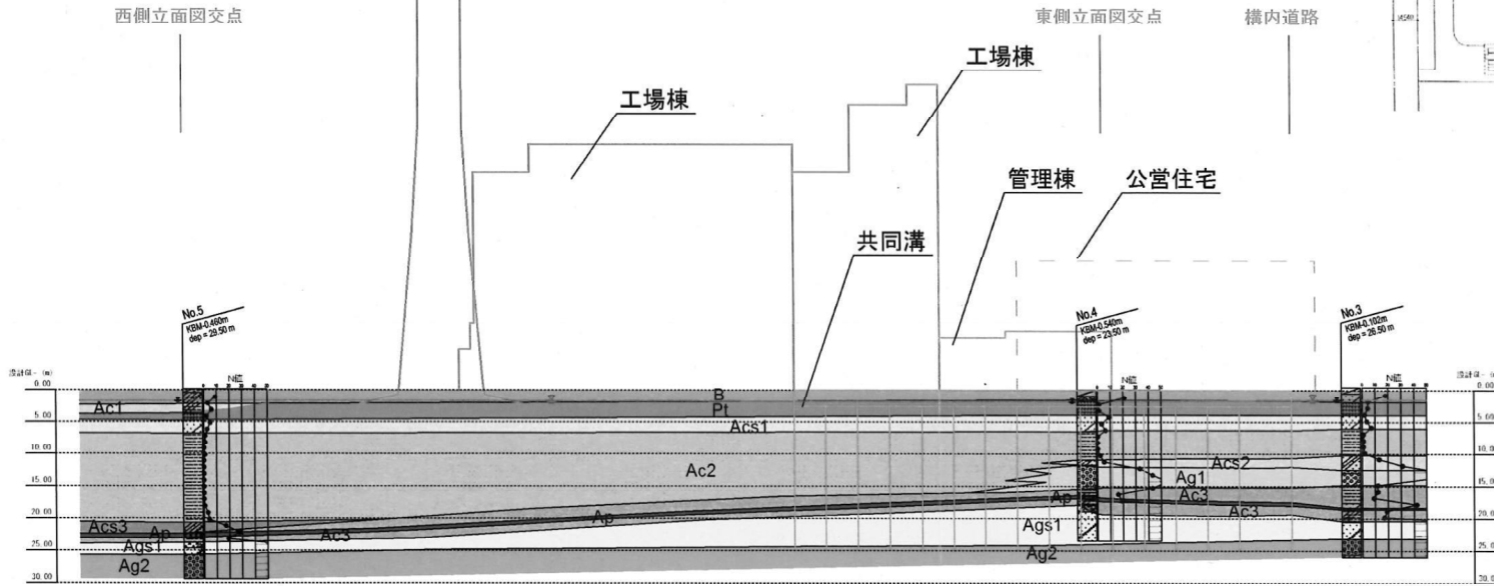
東側立面図

図 5.1.1 地層断面図 (北側立面図、東側立面図投影)

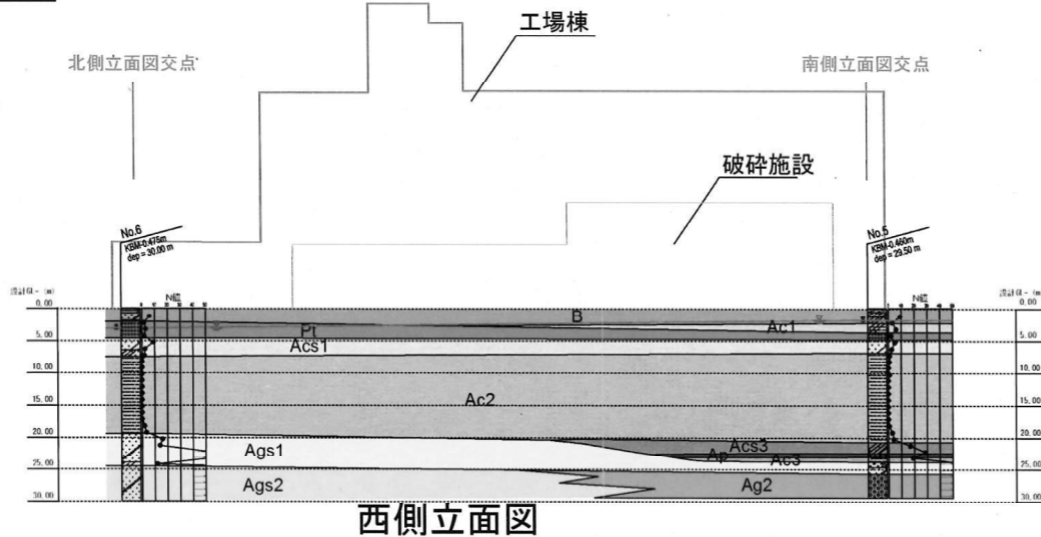


地質年代		地層記号	地質	
新 生 代	第 四 紀	完 新 世	B	盛土
			Ac1	砂質粘土
			Pt	泥炭
			Ac1	細粒分質砂
			Ac2	シルト・粘土
			Ac2	細粒分質砂
			AGS	細粒分質礫質砂
			Ag1	砂礫・細粒分じり礫質砂
			Ac3	粘土
			Ac3	礫混じり細粒分質砂
			Ap	有機質土
			AGs1	細粒分質砂・礫混じり砂
			AGs2	礫混じり砂
			Ag2	砂礫

C-C 断面 清掃工場南側断面図



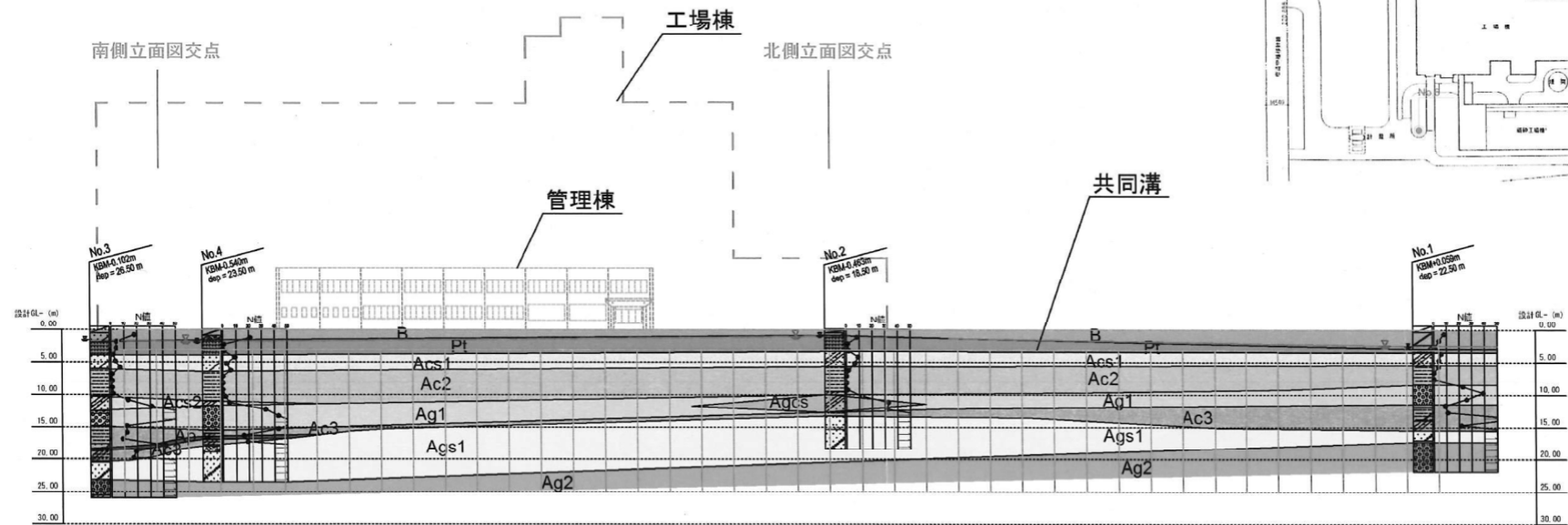
D-D 断面 清掃工場西側断面図



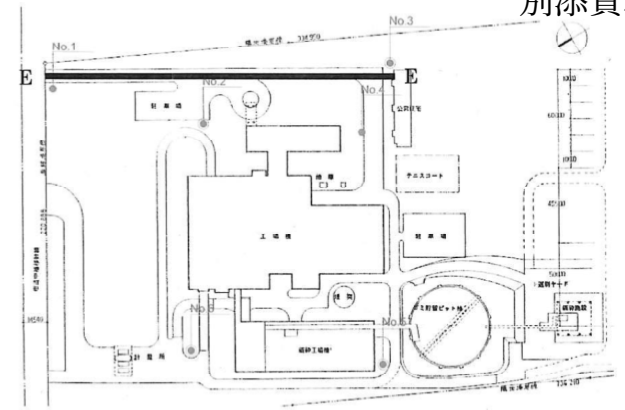
地質年代		地層 記号	地質	
新 生 代	第 四 紀	完 新 世	B	盛土
			Ac1	砂質粘土
			Pt	泥炭
			Acs1	細粒分質砂
			Ac2	シルト・粘土
			Acs2	細粒分質砂
			Agcs	細粒分質礫質砂
			Ag1	砂礫・細粒分混じり礫質砂
			Ac3	粘土
			Acs3	礫混じり細粒分質砂
			Ap	有機質土
			Ags1	細粒分質砂・礫混じり砂
			Ags2	礫混じり砂
			Ag2	砂礫

図 5.1.2 地層断面図 (南側立面図、西側立面図投影)

E-E 断面 東側構内道路断面図

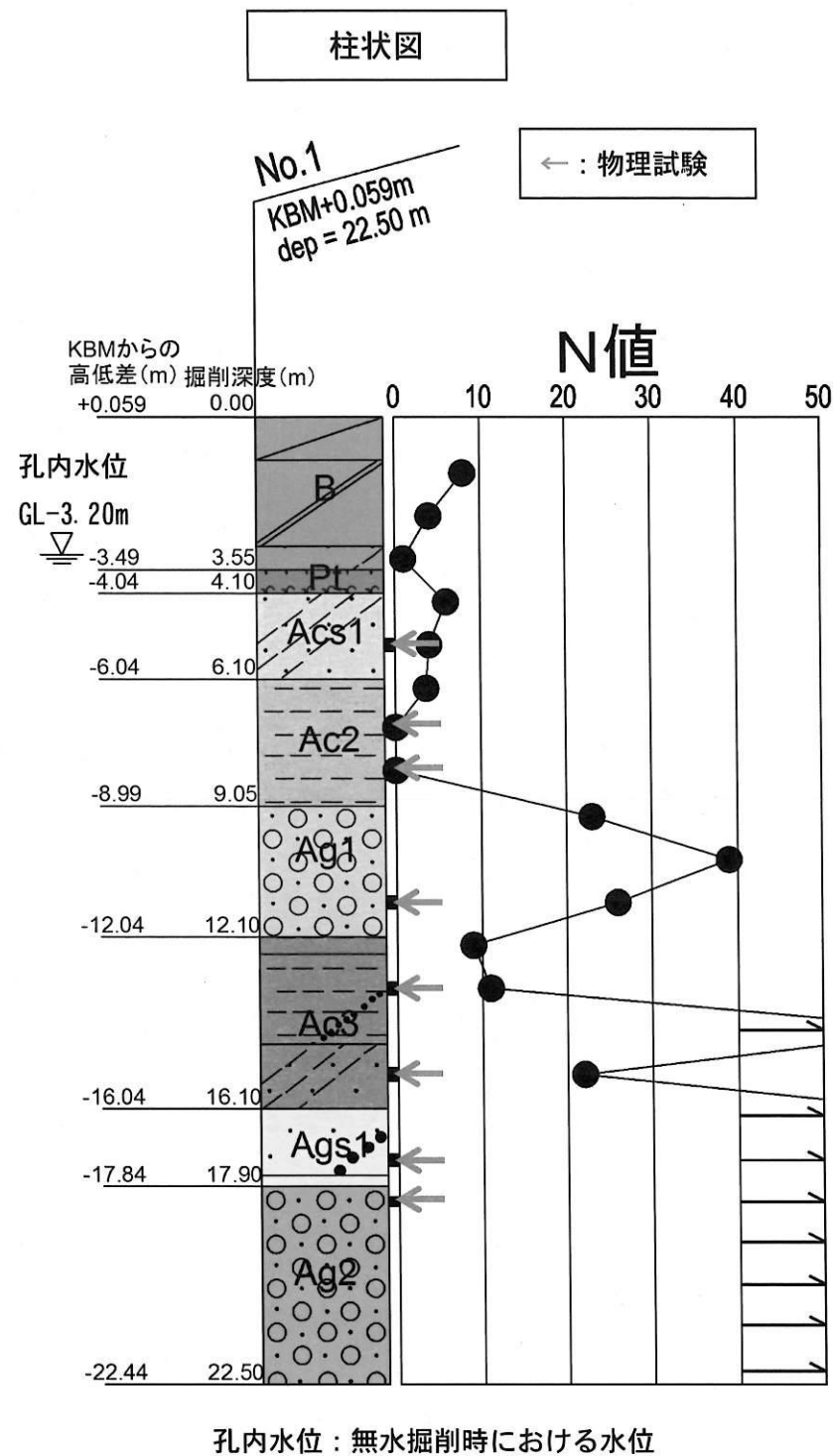


東側構内道路



地質年代	地層記号	地質
新生代 第四紀 完新世	B	盛土
	Ac1	砂質粘土
	Pt	泥炭
	Acs1	細粒分質砂
	Ac2	シルト・粘土
	Acs2	細粒分質砂
	Agcs	細粒分質礫質砂
	Ag1	砂礫・細粒分混じり礫質砂
	Ac3	粘土
	Acs3	礫混じり細粒分質砂
	Ap	有機質土
	Ags1	細粒分質砂・礫混じり砂
	Ags2	礫混じり砂
	Ag2	砂礫

図 5.1.3 地層断面図 (東側構内道路投影)



地層概要			
地層区分	深度 (GL-m)	土質区分	記事
B	0.00 ~ 1.00	表土	全体的に砂礫状となり砂分は固結状を呈している。粒径が20mm程度の垂円礫を含む。少量の植物根も含む。
	1.00 ~ 3.00	盛土	シルト質砂を主体とする。砂分は粒径の均一な細砂。粘性は弱い。含水量は少ない。GL-3.80~3.95mまで暗灰のシルトを挟在する。
	3.00 ~ 3.55	シルト混じり砂	粒径の均一な細砂を主体とする。粘性は弱い。含水量は中位。
Pt	3.55 ~ 4.40	泥炭	全体的に軟弱。含水量は中位。腐植物は少ない。全体的に少量の砂分を含む。
Acs1	4.40 ~ 6.10	シルト質砂	粒径の均一なを主体とし、全体的にシルト分含む。粘性は中位。含水量は中位。GL-5.20m以深よりシルト分多くなる。
Ac2	6.10 ~ 9.05	粘土	粒径の均一な粘土。粘性は強い。含水量は多い。GL-9.00m付近少量の砂分含む。
Ag1	9.05 ~ 12.10	砂礫	砂は粒径の不均一な細~中砂を主体とする。全体的に20~80mm程度の垂円礫、角礫を含む。GL-9.05~9.80m付近少量のシルト分を含む。含水量は多い。
Ac3	12.10 ~ 12.50	粘土	非常に粘性の強い均一な粘土。全体的に酸化している。
	12.50 ~ 14.60	砂混じり粘土	均一な粘土を主体とし、部分的に少量の砂分を含む。粘性は強い。含水量は中位。GL-14.00m付近、黒灰の炭化物を含む。GL-14.00~14.40m付近、非常に固結している。
	14.60 ~ 16.10	シルト質砂	砂は細砂を主体とし、全体的にシルトを含む。含水量は中位。部分的に酸化部が見られる。
Ags1	16.10 ~ 17.65	礫まじり砂	粒径の不均一な細~中砂を主体とする。一部固結状を呈している。10~20mm程度の垂円礫を少量含む。粘性は中位。含水量は多い。
	17.65 ~ 17.90	粘土	粒径の均一な粘土。粘性は強い。含水量は多い。少量の砂分を含む。
Ag2	17.90 ~ 22.50	砂礫	全体的に30~50mm程度の垂円礫が混在する。含水量は多い。GL-18.80mまで粒径の不均一な細~中砂を主体とする。GL-18.80~19.00m粗砂を主体。GL-19.00~19.50m細~中砂主体。GL-19.50m以深中~粗砂を主体。

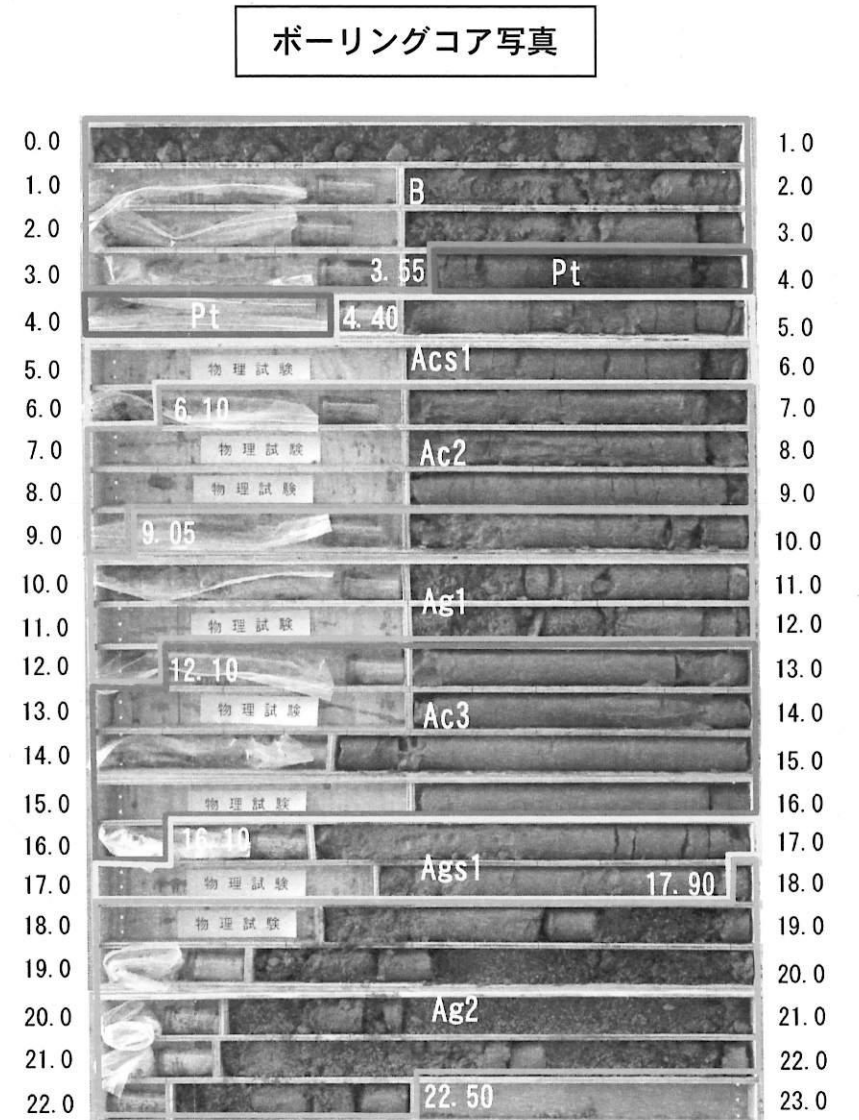
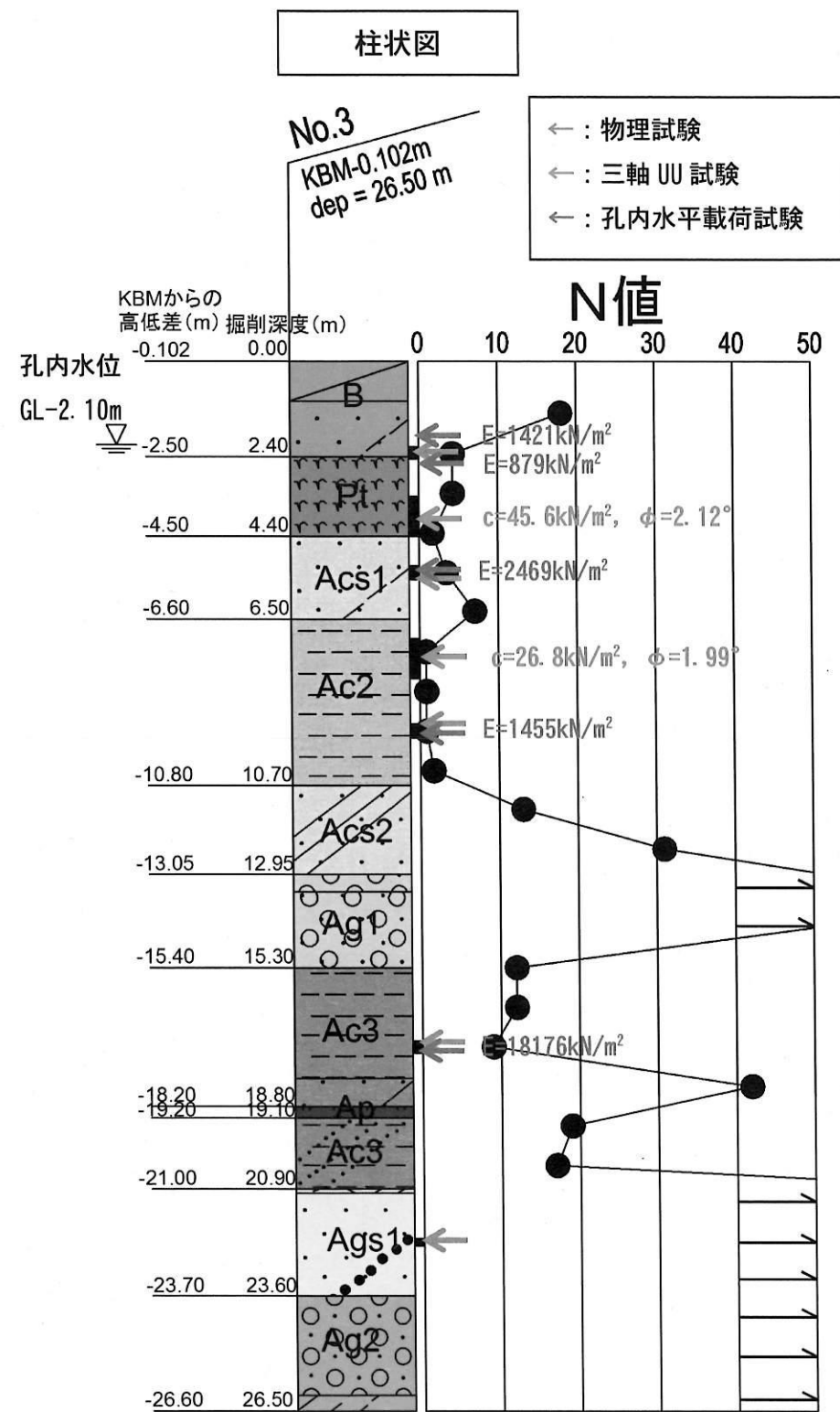


図 5.1.4 ボーリング調査結果 (No. 1)



孔内水位：無水掘削時における水位

地層概要			
地層区分	深度 (GL-m)	土質区分	記事
B	0.00 ~ 1.00	表土	シルト混じりの砂を主体とする。部分的に粒径10~20mm程度の亜円礫を含む。含水量は少ない。GL-0.2m付近植物根が少量混入する。
	1.00 ~ 2.40	シルト混じり砂	粒径の均一な細砂を主体とする。粘性は弱く、含水量は少ない。部分的に粒径10~20mm程度の亜円礫を含む。GL-1.5m付近に白色の火山灰を挟む。GL-1.95~2.00m付近に軽石混じり火山灰を含む。
Pt	2.40 ~ 4.40	泥炭	全体的に腐植物を含む。含水量は中位。GL-3.60~3.80m付近腐植物が多い。
Acs1	4.40 ~ 6.50	シルト混じり砂	均一な細砂を主体とする。粘性は弱~中位。含水量は多い。全体的にシルト分が含まれており、GL-6.5m付近よりシルト分が多くなる。
Ac2	6.50 ~ 10.70	粘土	均一な粘土。粘性は強い。含水量は多い。部分的に細砂分を含む。
Acs2	10.70 ~ 12.95	粘土質砂	粘土分を全体的に多く含む。砂分は均一な細砂を主体とする。GL-11.00~11.50mに部分的にシルト分が多く混入する。粒径20mm程度の亜円礫を少量含む。
Ag1	12.95 ~ 13.39	砂礫	粒径が20~50mmの亜円礫を主体とする。含水量は多い。
	13.39 ~ 15.30	礫まじり砂	粒径の不均一な中~粗砂を主体とする。粒径が20~50mmの亜円礫を含む。深度が深くなるにつれて礫分が少なくなり、砂分は細砂主体となる。
Ac3	15.30 ~ 18.10	粘土	粒径の均一な粘土。粘性は強い。含水量は中位。
	18.10 ~ 18.80	粘土混じり砂	粒径の不均一な砂を主体とする。粘性、含水量ともに中位。GL-18.70m付近固結した有機質土がわずかに混入する。
Ap	18.80 ~ 19.10	有機質土	粒径は均一で、固結状を呈している。
Ac3	19.10 ~ 20.90	砂質粘土	均一な粘土を主体とし、全体的に砂分を含む。粘性は強い。GL-20.80m付近酸化部がみられる。
Ags1	20.90 ~ 21.00	軽石混じり火山灰	白色の軽石を含む。
	21.00 ~ 23.60	礫混じり砂	粒径の不均一な細~中砂を主体とする。粒径が10~30mm程度の亜円礫を全体的に含む。砂分は一部固結状を呈している。GL-21.50m付近に粒径が80mm程度の亜円礫が混入する。
Ags2	23.60 ~ 26.10	砂礫	粒径が10~30mm程度の亜円礫を全体的に含む。礫の最大粒径は80mm程度。GL-23.6~25.00m付近まで中砂~粗砂を主体とする。GL-25.00m以深から細砂が主体となり、礫分も少なくなる。
	26.10 ~ 26.50	シルト質砂	粒径の均一な細砂を主体とする。粘性は弱い。深度が深くなるにつれて中砂が主体となる。

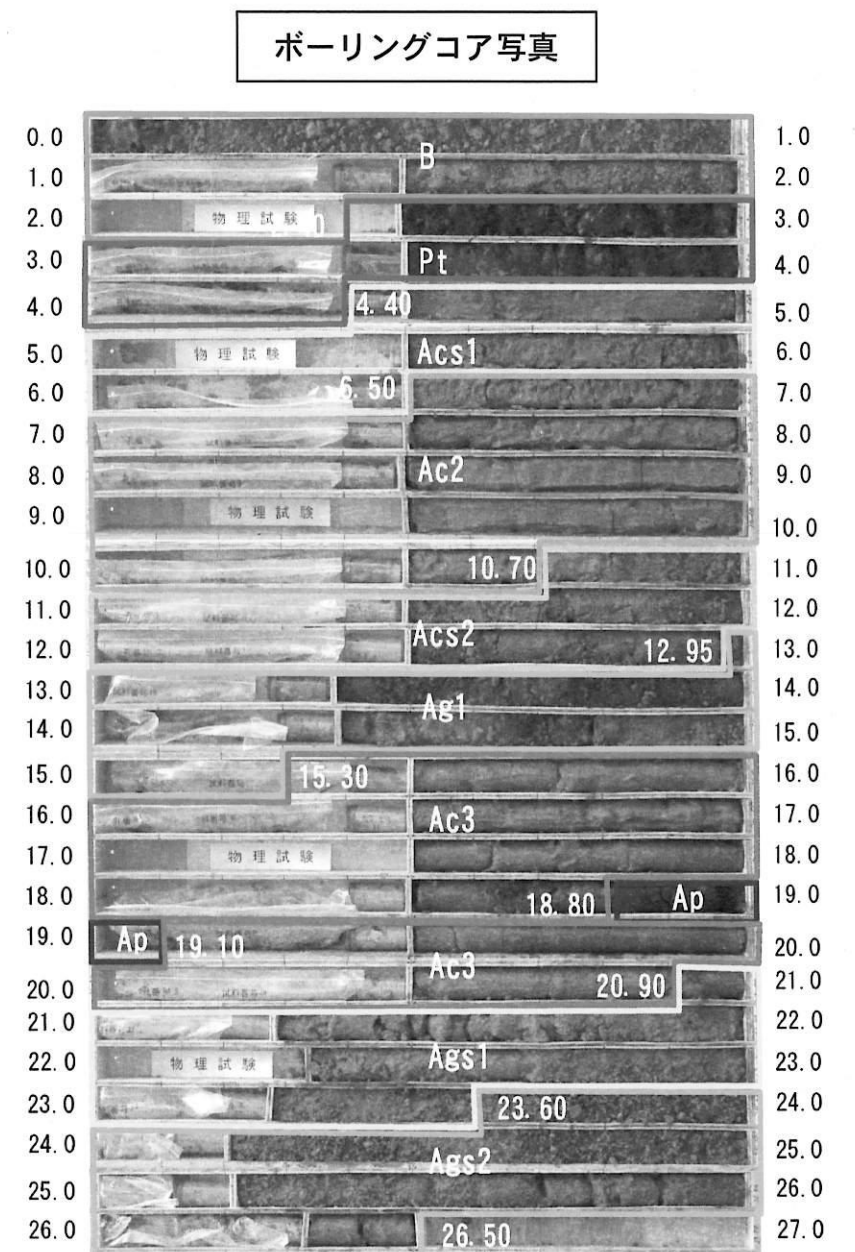
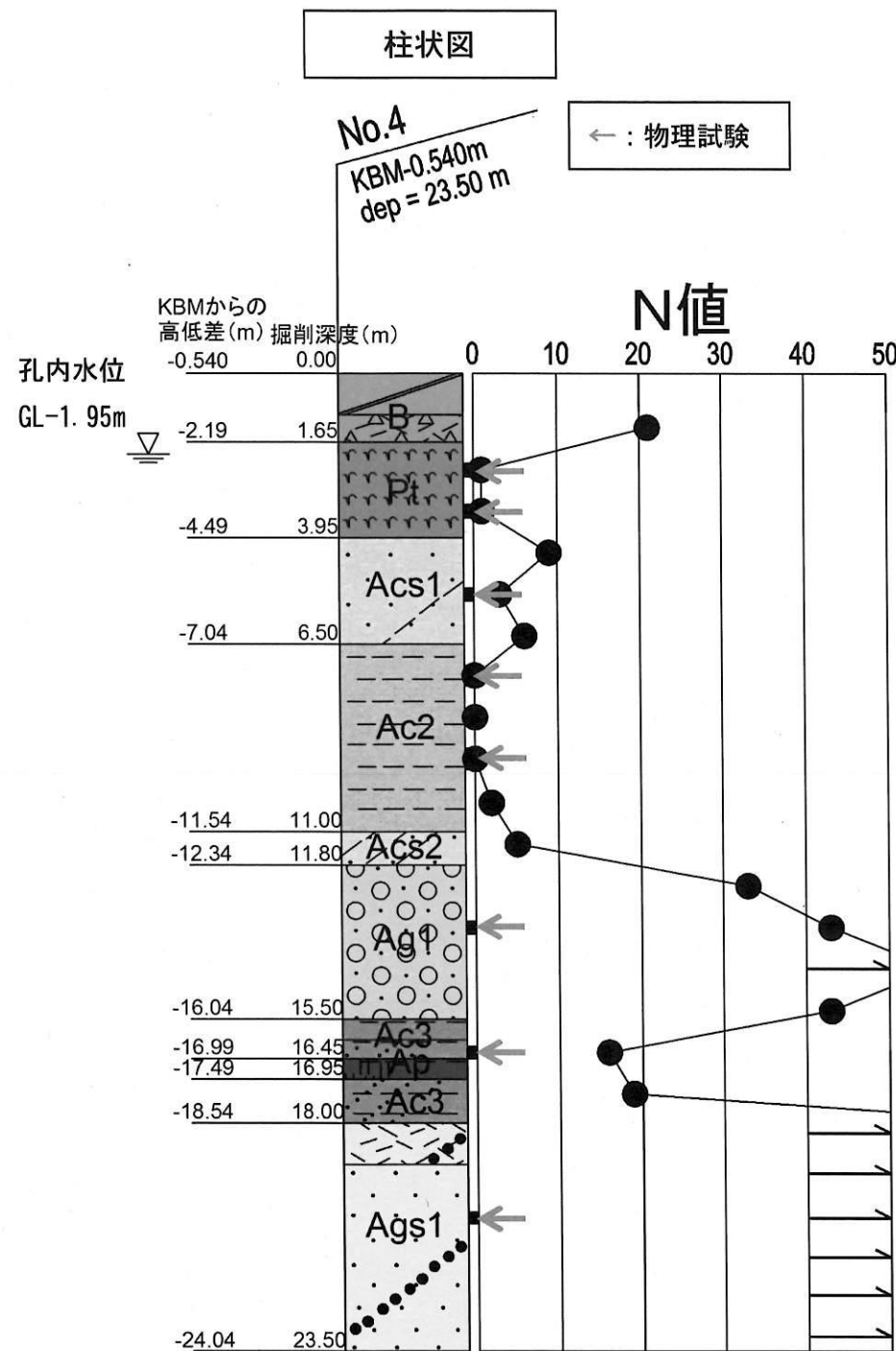


図 5.1.6 ボーリング調査結果 (No. 3)



孔内水位：無水掘削時における水位

地層概要			
地層区分	深度 (GL-m)	土質区分	記事
B	0.00 ~ 1.00	盛土	全体的に植物根、粒径20mm程度の垂角礫を含む。礫混じりシルト状となっている。含水量は少ない。
	1.00 ~ 1.65	軽石混じり火山灰	全体的に火山灰を含み、白色の軽石を含む。含水量は少ない。
Pt	1.65 ~ 3.95	泥炭	全体的に腐植物含む。含水は多い。
Acs1	3.95 ~ 6.50	シルト混じり砂	粒径の均一な細砂を主体とする。含水量は中位。GL-5.50~5.70m付近シルト分薄く挟む。
Ac2	6.50 ~ 11.00	粘土	均一な粘土を主体とする。粘性は強い。含水量は多い。GL-6.50~7.00m付近わずかに細砂分含む。GL-10.50~11.00m付近粘性が非常に強い。
Acs2	11.00 ~ 11.80	シルト質砂	粒径の均一な細砂を主体とする。粘性は中位。含水量は多い。GL-11.55m付近黒褐の固結した木炭をはさむ。
Ags1	11.80 ~ 15.50	砂礫	粒径の不均一な細~中砂を主体とし、粒径10~30mm程度の垂円礫を含む。含水が多い。GL-12.80m付近より色調が変化する。GL-14.00m以深中~粗砂主体となる。
Ac3	15.50 ~ 16.00	粘土	均一な粘土。粘性は非常に強い。
	16.00 ~ 16.45	砂質シルト	全体的に固結状を呈している。
Ap	16.45 ~ 16.95	有機質粘土	全体的に固結状を呈している。
Ac3	16.95 ~ 18.00	砂質シルト	均一なシルトを主体とする。粘性は強い。含水量は多い。GL-17.50m付近腐植土を薄くはさむ。
Ags1	18.00 ~ 19.00	礫混じり火山灰	GL-18.6m付近、白色の軽石を含む。全体的に火山灰を含む。粒径が30mmの礫も含む。層下部に軽石を含む。
	19.00 ~ 23.50	礫混じり砂	粒径の不均一な砂を主体とし、粒径が30~50mm程度の垂円礫が混在する。GL-21.6m付近粘性土を薄くはさむ。GL-22.50m付近砂分が一部固結状を呈している。砂分は層下部に従い粗砂状となる。

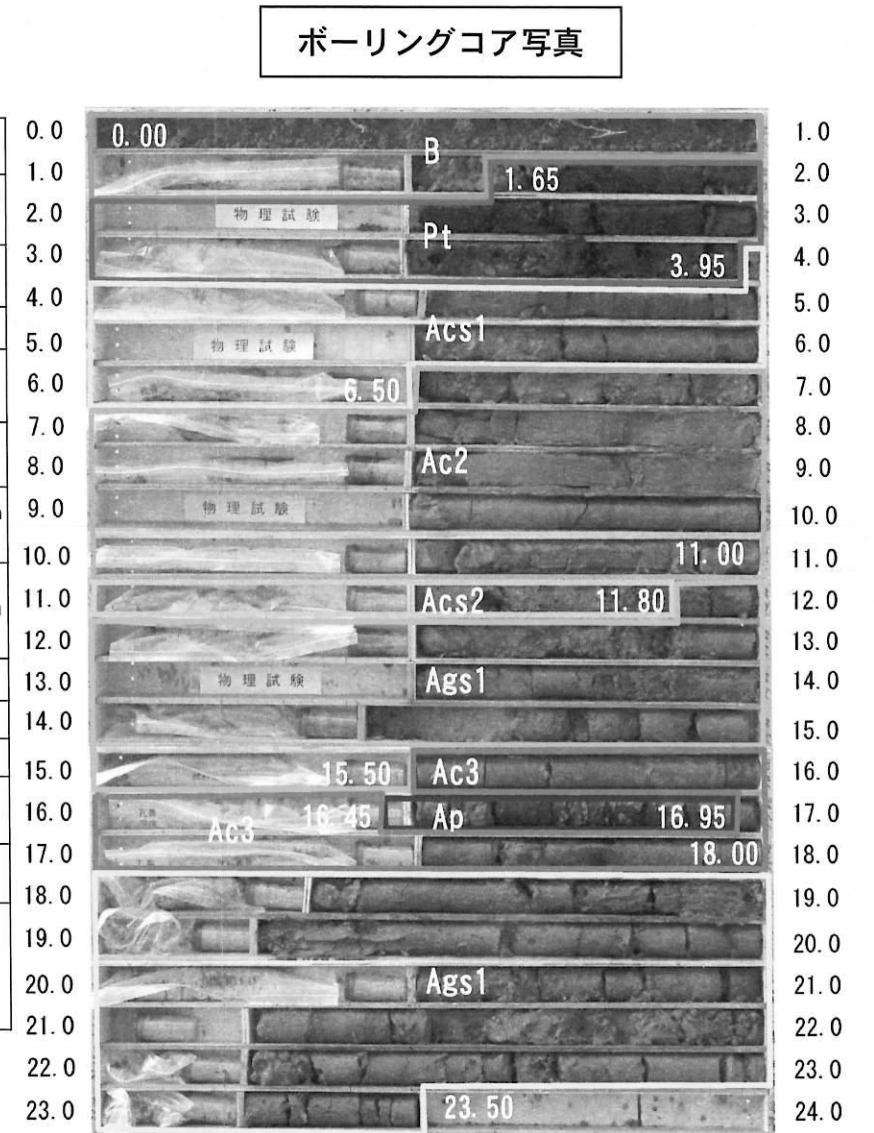


図 5.1.7 ボーリング調査結果 (No. 4)

